

中心市街地の現状

川西市の概況
大阪市や神戸市の大都市近郊の住宅都市。恵まれた自然環境。
中心市街地の概況
川西能勢口駅周辺は、公共交通機関の結節点。大規模商業施設、文化施設、行政等の公共施設等の集積。 キセラ川西地区は、土地区画整理事業により大規模商業施設や医療、文化施設が立地。
中心市街地の現状に関する統計的なデータの把握・分析
居住人口は、横ばいの傾向。周辺都市に10,000㎡を超える大型商業施設が立地し、中心市街地にとっては大きな脅威。 小売業の商店数や年間商品販売額等は減少傾向が続いているが近年回復の兆しが見える。歩行者通行量は、全体的には減少傾向だが、キセラ川西地区の整備効果により、一部のポイントでは増加傾向。
市民ニーズ等の把握・分析
中心市街地への来街目的は「日々の買い物」が多く、「にぎわいのある」イメージが抱かれている。 平均滞留時間は、2時間46分程度。 近年整備したキセラ川西せせらぎ公園や藤ノ木さんかく広場の認知度は低く、利活用の促進が課題。
第2期基本計画による取り組みの評価
完了及び実施中の事業はおおむね計画通り取り組んできた。 歩行者通行量は減少傾向にあり、目標は達成できなかったが、キセラ川西地区の整備により、調査ポイントによっては、増加傾向にある。 来街者の平均滞留時間は、各種イベントの効果などもあり大きく目標を上回ったが、第2期計画で整備したキセラ川西せせらぎ公園や藤ノ木さんかく広場の認知度、稼働率を上げていくことが課題である。 人口の社会増減は、キセラ川西地区に新たな大規模民間マンションやサービス付高齢者向け住宅が完成し、入居が始まったことにより、目標を達成した。 年間商品販売額(小売業)は、目標を達成できなかったが、今後、オアシスタウンキセラ川西の完成による効果が期待される。

中心市街地の課題

中心市街地全体の回遊性を向上させ、恒常的ににぎわいを創出する

これまでの計画において川西能勢口駅周辺の商業施設の再整備、キセラ川西地区の整備を進めたことにより、人が住むようになり、新たな商業施設がオープンするなど新たなにぎわいの核が創出された。

しかしながら、来街者は川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区のみに滞留し、中心市街地全体に回遊していない状況である。また、イベント広場や日常の憩いの場として「藤ノ木さんかく広場」を整備したものの、認知度や利用状況に課題がある。

ただこうした中でも、少しずつではあるが一部で歩行者通行量が増加、広場の利用者も増加していることから、活性化の機運も高まりつつある。

新たに生まれたにぎわいの芽を伸ばすとともに、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区という2つのにぎわいの核をつなぐための回遊ルートを構築するなど、恒常的ににぎわいを中心市街地全体に波及させていくことが課題である。

魅力的な店舗やまちで活躍する人を増やすことで経済活力を向上させる

中心市街地の事業所数は近年横ばいの状態にあり、近隣都市に買い物客が流出している傾向があるほか、商店が新規に顧客を獲得するためのパルイベントについても、マンネリ化が見られ、期待する効果が現れていない。

一方で、市内でまちづくり活動を行う団体の中心メンバーがタウンマネージャーに就任したことを契機に市民が主体的に取り組むイベントが芽を出してきているほか、女性起業者が交流する団体が誕生するなど、経済活力を生み出す新たな動きが芽生え始めている。

こうした機運を捉え、地元商業者も含めた連携体制を構築することで、市民、起業家、商業者が活躍しやすい環境づくりを行い、新規出店等に繋げることで市内在住者及び市外からの来街者の消費の確保を図ることが必要である。

活性化の基本方針

活性化のテーマ

このまちに暮らす人、訪れる人
みんなをむすび いきいきわくわくできるまち

基本方針

回遊性を向上させ、相乗的ににぎわいが生まれるまち

目標 恒常的ににぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

歩行者・自転車通行量(休日)

目標 46,547人/日 令和6年度
【基準値 44,177人/日 H30年度】

◎中心市街地の居住人口の社会増

目標 170人/R2~6年度
【基準値 126人/H27~30年度】

基本方針

働く場所、魅力的な場所を増やし、活躍する人が生まれるまち

目標 魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する

新規起業家数

目標 22人/R6年度
【基準値 4人/H30年度】

新規出店数

目標 23店/R6年度
【基準値 5店/H30年度】

目標達成のための主な事業

恒常的ににぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

グリーンスローモビリティ導入事業

にぎわいの少ない川西能勢口駅東側から、豊川橋山手線を通り、前期計画で整備したキセラ川西プラザ、キセラ川西せせらぎ公園、キセラ川西地区に整備予定の新病院を結ぶルートで運行することで、回遊性の向上を図る。

都市計画道路豊川橋山手線整備事業

キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図る。

シェアサイクル導入事業

川西能勢口駅周辺からキセラ川西地区における手軽に使用できる交通手段としてシェアサイクルを導入することで川西能勢口駅前からキセラ川西地区へのアクセスの向上を図る。

中心市街地案内サイン板設置事業

川西能勢口駅前、キセラ川西地区、その2点を繋ぐエリアに、デザインルールにより統一された案内サイン板を設置することで中心市街地の回遊性の向上を図る。

魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する

コワーキングスペース運営支援事業

起業をめざしている者や既に起業している者などが集まることができる場の運営を支援することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出する。

ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業

川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携しにぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。

中心市街地空き店舗等出店支援事業

中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。

まちのプレーヤー発掘事業

タウンマネージャーが中心となり、まちの使い方や活性化をテーマに交流し、まちで活躍するプレーヤーを発掘することで、相乗的なまちのにぎわいを創出する。